

赤谷森林 平成25年度 ふれあい推進センター
活動報告

資料編

AKAYYA

P R O J E C T

平成25年度 赤谷森林ふれあい推進センターのイベント等実績表

平成25年度末

年月日	曜日	名称	内容	開催地	主催者	参加人数	来場者数	分類 番号	備考
H25.7.22	月	新治小学校5年生サマースクール	「自然の不思議と恵み探し」	高原千葉村	新治小学校	60		①	地域協議会:林・長浜 NAC S:出島
H25.7.29	月	デザートスポーツキッズ教室	「森の探検ウォークラリー(version2)」	高原千葉村	デザートキッズ みなかみ町	42		①	
H25.10.1	火	新治小学校6年生 遠足	旧三国街道遠足(群馬側～新潟側)	旧三国街道(三坂線～新潟側 トンネル)	新治小学校	63		①	
H25.10.2	水	沼田北小学校 森林環境学習	「森の探検ウォークラリー(version2)」	高原千葉村	沼田北小学校	77		①	局応援:計画課:佐藤 技術普及課:勝川
H25.11.28	木	新治小学校 事後学習	10/1新治小遠足の事後学習「遠足の振り返りと赤谷の森で見られる動物たち」	新治小学校	新治小学校	61		①	
					計	303			
H25.4.13	土	国有林における生物多様性の復元に向けた森づくりの見学会	生物多様性の保全について、関東森林管理局が平成16年度から重点的に取り組んでいる「赤谷プロジェクト」の取組の見学会	みなかみ町相保 猿ヶ京アカ デミー外	NPO森づくり フォーラム	7		②	
H25.4.14	日	国有林における生物多様性の復元に向けた森づくりの見学会	小出俣林道で、自然林復元の取組みを見学(講師:長島成和)	みなかみ町 小出俣林道	NPO森づくり フォーラム	7		②	
H25.5.14	火	森林生態系スペシャリスト研修	「森林生態についての知見を有する職員の養成を図り、業務の円滑な運営を図る」ことを目的とした研修	関東森林管理局・研修所・いき もの村ほか	関東森林管理局	10		②	研修期間5/13～5/17
H25.5.15	水	森林生態系スペシャリスト研修	「森林生態についての知見を有する職員の養成を図り、業務の円滑な運営を図る」ことを目的とした研修	関東森林管理局・研修所・いき もの村ほか	関東森林管理局	10		②	
H25.5.18	土	放送大学面接授業	赤谷プロジェクトの内容と意義(講義:廣橋所長)	沼田市立図書館	放送大学群馬学 習センター	13		②	
H25.5.19	日	放送大学面接授業	赤谷源流の豊かな自然を観察し、わが国の水源と生物多様性を考える(講師:長島成和 補助:栗田喜則)	小出俣林道ほか	放送大学群馬学 習センター	13		②	
H25.6.30	日	「旧三国街道三国峠を歩こう!」学習会	「旧三国街道・三国峠周辺の森の魅力」学習会	猿ヶ京料理旅館樋口	赤谷プロジェクト	18		②	
H25.7.4	木	森林インストラクター東京会「木の日」学習会	「国有林における幅広い関係者の協働による生物多様性復元に向けた取組」の学習会	東京都文京区	森林インストラク ター東京会	18		②	
H25.7.10	水	「旧三国街道三国峠を歩こう!」学習会	6月30日に座学で学習したものを、現地で観察し、知識を深めることが目的	旧三国街道・三国峠	赤谷プロジェクト	18		②	
H25.10.24	木	群馬県農林大学校外学習	森林管理学習Ⅱ 「生物多様性復元に向けた取組」	いきもの村外	群馬県農林大学	10		②	
H25.10.30	水	利根実業高等学校 校外学習	「生態系サービスを探せ!」	旧三国街道	利根実業高等学 校	20		②	
H25.11.6	水	環境省自然保護官等研修Ⅲ	林野行政に見る地域協働～赤谷プロジェクトを例に～	埼玉県所沢	環境省環境調査 研修所	19		②	

年月日	曜日	名称	内容	開催地	主催者	参加人数	来場者数	分類 番号	備考
H25.11.20	水	生物多様性保全 I 研修	平成25年度 生物多様性保全 I (技術) 研修	森林技術総合研修所	林野庁 森林技術 総合研修所	18		②	
H25.11.21	木	生物多様性保全 I 研修	〃	森林技術総合研修所	林野庁 森林技術 総合研修所	18		②	
H25.12.5	木	JICA(ラオス) 研修	平成25年度ラオス「REDD+と二国間における炭素クレジット取引 制度構築」研修コース	利根沼田森林管理署～いきも の村外	JICA(ラオス)	5		②	
H25.12.6	金	JICA(ラオス) 研修	〃	いきもの村外	JICA(ラオス)	5		②	
					計	209			
H25.4.29	月:祝	グリーンフェア2013in敷島公園まつり	技術普及課と共同で赤谷プロジェクト等の取組をPR。パネル展示・ ロケットリーフの体験	群馬県前橋市 敷島公園	関東森林管理局	790	15,000	③	さる小飯島応援
H25.5.1	水	上毛高原駅 赤谷プロジェクトPRブ ースオープン	上越新幹線「上毛高原駅(群馬県利根郡みなかみ町)」内のみなか み町展示場において、赤谷プロジェクトのPR	上毛高原駅	赤谷プロジェクト		45,000	③	5/1～5/31
H25.5.18	土	中野区花と緑の祭典(2013春)	みなかみ町のブース内で、赤谷センターと猿ヶ京スポーツアカデ ミーが協力し、空飛ぶタネの模型(ロケットリーフ)体験	中野四季の森公園	中野区花と緑の 祭典実行委員会	70	5,000	③	2日間実施の内一日
H25.5.25	土	赤谷の森自然散策(第1回)	～春の息吹を体感しませんか～(新潟側～群馬県三坂線入り口)	旧三国街道	みなかみ町環境 課 赤谷センター	24		③	
H25.7.6	土	第4回 全国源流サミット	ゲストスピーカーとして、赤谷プロジェクトの取組みを紹介	みなかみ町カルチャーセン ター	全国源流サミ ット・みなかみ町		350	③	
H25.7.7	日	第4回 全国源流サミット	エクスカッション茂倉沢での溪流環境保全のための赤谷プロジェク トの取組みを紹介	茂倉沢ほか	全国源流サミ ット・みなかみ町	18		③	
H25.8.3	土	赤谷の日祭り	旧三国街道の散策、茂倉沢、小出俣の現場見学ツアー、いきもの 村ツアー、ネイチャークラフト	まんてん星の湯(メイン会場) 赤谷の森全体	赤谷プロジェクト	96		③	
H25.8.24	土	猿ヶ京温泉赤谷湖花火大会	赤谷プロジェクトのパネルを展示。クラフト(ヒノキの球果ストラッ プ作り)等	まんてん星の湯(猿ヶ京温泉)	猿ヶ京温泉まつり 実行委員会	68		③	
H25.8.25	日	21世紀の森フェスティバル	利根沼田森林管理署のブース内に赤谷プロジェクトのパネルを展 示。クラフト(ヒノキの球果ストラップ作り)	群馬県立森林公園「21世紀 の森」(沼田市・川場村)	利根沼田森林管 理署	63		③	
H25.9.7	土	第1回akayaカフェ	「谷川連峰のささげばら」亀山 章(東京農工大学名誉教授)	湯宿 五郎兵衛やかた	赤谷プロジェクト	22		③	参加費無料
H25.9.29	日	オンパク(ネイチャークラフト教室)	～森のかけらストラップを作ろう!～スギの木片(かけら)やヒノキ の球果を利用して、オリジナルストラップを作成。	泊まれる学校 さる小	オンパク	8		③	参加費500円
H25.10.5	土	オンパク(センカメ仙人)	センカメ仙人と歩く赤谷の森+サポーター	旧三国街道	オンパク	5		③	
H25.10.5	土	第2回akayaカフェ	「赤谷川の河原にて」中井 達郎(国士館大学講師)	たぐみの里・マッチ絵の家	赤谷プロジェクト	17		③	参加費無料
H25.10.6	日	間伐・間伐材コンクール	間伐・間伐材利用コンクール(ロケットリーフを応募)	新宿御苑	林野庁	100	30,000	③	ロケットリーフチラシ200・ロ ケットリーフ300
H25.10.27	日	赤谷の森自然散策(第2回)	～深まる秋を体感しませんか～※ボランティアスタッフ制導入	旧三国街道	みなかみ町環境 課 赤谷センター	21		③	
H25.11.23	土	さるしょうの乱	森から考えよう(講師:藤田) akayaカフェ	泊まれる学校 さる小	2013秋さるしよ うの乱委員会外	20		③	

年月日	曜日	名称	内容	開催地	主催者	参加人数	来場者数	分類 番号	備考
H25.11.24	日	さるしょうの乱	フィールドワーク(いきもの村案内:栗田) akayaカフェ	泊まれる学校 さる小	2013秋さるしょうの乱委員会外	28		③	
H25.12.1	日	第18回 ごったくまつり・ボランティアフェスタ沼田	赤谷プロジェクトPR。ネイチャークラフト体験。	沼田市保健福祉センター	沼田市ボランティアセンター	78		③	
H25.12.7	土	第3回akayaカフェ	「肉を食べる大きな鳥」山崎 亨(アジア猛禽類ネットワーク会長)	三国路与謝野晶子紀行文学館	赤谷プロジェクト	25		③	参加費無料
H26.2.8	土	赤谷の森自然散策(第3回)	冬の観察会と紙芝居! ボランティアスタッフ5名協力	泊まれる学校 さる小 いきもの村	みなかみ町環境課 赤谷センター	24		③	
H26.2.12	水	平成25年度関東森林管理局森林・林業技術等交流発表会	「赤谷プロジェクトにおける市民参加のモニタリング調査(ホンドテンを指標種とした森林環境調査)」 赤セ・石坂、サ・鈴木	前橋テルサ	関東森林管理局	31	400	③	2/12~13
H26.2.16	日	赤谷プロジェクト活動報告会	森の恵みと地域づくり(大雪で中止)	新治支所	赤谷プロジェクト			③	
H26.3.9	日	赤谷プロジェクト10周年シンポジウム	自然をいかした地域づくりの展望~赤谷プロジェクト 次の10年~	東京農工大	赤谷プロジェクト	120		③	
					計	1,628	95,750		
H25.6.10	月	東京大学森林経理研究室合宿	赤谷プロジェクトの概要説明。茂倉沢2号ダム・副ダムと小出俣試験地の視察	いきもの村・小出俣・茂倉沢	東京大学	9		④	
H25.6.20	木	北海道森林土木協会視察	環境保全への配慮や既存施設の見直し、改修工事の実施等の技術的な研究のための視察	茂倉沢2号ダム	北海道森林土木協会	7		④	
H25.10.7	月	(財)消費科学センター視察	赤谷プロジェクトの概要説明	いきもの村	消費安全局	44		④	
H25.10.7	月	スノーカントリートレイル視察	赤谷プロジェクトの概要説明。小出俣試験地の視察	いきもの村、小出俣自然林復元試験地	スノーカントリートレイル事業関係者	5		④	
		官公庁関係者視察	視察回数:7回/視察者数:30名	いきもの村、小出俣自然林復元試験地、たくみの里外		30		④	
					計	95			
H25.9.8	日	赤谷プロジェクト 10周年フィールドセミナー(第1回)	赤谷の森を”科学的に管理する”事を取り組んできた研究者の方を講師に、森の中を歩きながらプロジェクトの取り組みを紹介。	いきもの村、小出俣自然林復元試験地	NACS-J	13		⑤	参加費5千円
H25.9.27	金	オンパク・カスタネットづくり	赤谷の森のブナ材を使ったカスタネットづくり体験	みなかみ町布施	NACS-J	5		⑤	参加費300円
H25.9.28-29	土	自然林復元100年モニタリング調査会(3年目)	小出俣自然林復元試験地で行う市民参加型モニタリング調査。伐採1年前から継続で今年3回目	赤谷の森・小出俣エリア	NACS-J	12		⑤	参加費1万5千円(NACS-J会員1万1千円)宿泊費込み
H25.9.29	日	”	”	”	NACS-J	12		⑤	
H25.10.6	日	赤谷プロジェクト 10周年フィールドセミナー(第2回)	赤谷P10周年フィールドセミナー 「第2回akayaカフェ~赤谷川の河原にて」(講師*中井達郎)	赤谷の森全域	NACS-J	20		⑤	参加費5千円

資料1

年月日	曜日	名称	内容	開催地	主催者	参加人数	来場者数	分類 番号	備考
H25.10.14	日	オンパク・カスタネットづくり	赤谷の森のブナ材を使ったカスタネットづくり体験	みなかみ町布施	NACS-J	10		⑤	参加費300円
H25.10.19	土	ニコン社員の自然観察	ニコン社員を対象とした赤谷の森の紹介	赤谷の森・小出俣エリア	NACS-J	15		⑤	
H25.10.20	日	オンパク・カスタネットづくり一眼レフカメラ講座	ニコン協力による一眼レフカメラ講座	いきもの村	NACS-J	20		⑤	参加費3千円
H25.12.8	日	赤谷プロジェクト 10周年フィールドセミナー(第3回)	赤谷P10周年フィールドセミナー「第3回akayaカフェ～肉食の大きな鳥:イヌワシとクマタカ」(講師*山崎 亨)	ホテルシャウ猿ヶ京・相俣周辺	NACS-J	27		⑤	参加費無料
					計	134			
H25.4.6	土	赤谷の日	台風接近に付き中止		赤谷プロジェクト				
H25.5.11	土	赤谷の日	旧街道マップモニター・三坂茶屋ゴミ集・南ヶ谷湿地周辺の間伐作業後の影響調査・作業道測量・南ヶ谷湿地卵塊調査	赤谷の森全域	赤谷森林ふれあい推進センター	19		⑥	5/12の自由活動 旧街道シラネアオイ調査・仮称「赤谷の森学校」の打合せ
H25.6.1	土	赤谷の日	いきもの村環境整備(歩道刈り払い)・ミーティング	赤谷の森全域	赤谷森林ふれあい推進センター	15		⑥	6/12自由活動 テンモニ・「赤谷の森学校」MT・シラネアオイ調査・いきもの村観察
H25.7.6	土	赤谷の日	いきもの村環境整備(県道沿い・トレイルの草刈り)・南ヶ谷湿地周辺人工林間伐の影響調査	赤谷の森全域	NACS-J	15		⑥	7/7自由活動 テンモニ・初夏の三国山の記録・「赤谷の森学校」ミーティング・テンモニ
H25.8.3	土	赤谷の日	「赤谷の日」祭り「旧三国街道の散策、茂倉沢、小出俣の現場見学ツアー、いきもの村ツアー、ネイチャークラフト	まんてん星の湯(メイン会場) 赤谷の森全体	地域協議会	23		⑥	三国山・平標へ登山・いきもの村周辺ベニヒカゲ調査・「赤谷の森学校」ミーティング・ホンドテンモニタリング調査
H25.9.7	土	赤谷の日	小出俣自然林復元試験地芽生調査、いきもの村環境整備	赤谷の森全域	NACS-J	18		⑥	9/8自由活動 テンモニ・「赤谷の森学校」ミーティング・続小出俣試験地芽生え調査・いきもの村環境整備
H25.10.5	土	赤谷の日	センカメ仙人と歩く赤谷の森(みなかみオンパク参加)	旧三国街道	赤谷森林ふれあい推進センター	17		⑥	10/6自由活動 テンモニ調査・「赤谷の森学校」ミーティング
H25.11.2	土	赤谷の日	ホンドテンモニタリング体験・分収育林他のニホンジカ調査	赤谷の森全域	赤谷森林ふれあい推進センター	17		⑥	11/3「赤谷の森学校」ミーティング+デモンストレーション・テンモニ調査・南ヶ谷湿地調査
H25.12.7	土	赤谷の日	猛禽類モニタリング体験・ホンドテンモニタリング体験	赤谷の森全域	NACS-J	14		⑥	12/8テンモニ調査・赤谷の森学校ミーティング・旧三国街道散策
H26.3.1	土	赤谷の日	残雪等で施設使用不可のため中止		地域協議会			⑥	
					計	138			
					合計	2,507	95,750		

(注1) イベント及び環境教育等の分類

①: 小中学校(親子含む)を対象とした環境教育(森林教室等)

②: 高校・一般を対象とした環境教育(研修・セミナー等)

③: 普及啓発活動(赤セで協力したイベントなど)

④: 視察等の受入れ

⑤: その他(日本自然保護協会等の関連イベントなど)

⑥: 赤谷の日

⑦: 会議等(各WG及び赤谷プロジェクトが関係した会議)

(注2)「参加人数/予定」は、そのイベントに参加した総人数(概数でOK)、複数日にまたがるイベントは、延べ人数を記載して下さい。

(注3)「備考欄」には、政務3役、林野庁本庁幹部、著名人などの参加など、特記事項があれば記載して下さい。

赤谷の日活動状況調査表

平成25年度末

年度	サポーター 登録者数	参加者数							開催 延べ日数	サ月平均 参加者数	全月平均 参加者数	主な出来事	主な活動内容	イベント等
		サポーター	地域協会	赤セ	NACS-J	林野職員	その他	計						
H16		132	38	56	36	26	2	290	14	9	21	・赤谷プロジェクト協定締結 ・赤谷森林環境保全ふれあいセン ター設置	いきもの村環境整備等	いきもの村建物等整備作業(7月)、赤谷の日活 動開始(10月)
H17		310	66	74	38	40	58	586	20	16	29	・いきもの村施設利用ルール作成	炭窯、テンモニ、豊凶調査、環 境調査、いきもの村環境整備 等	赤谷プロジェクト「いきもの村」お披露目 赤谷の炭焼きを語る会(6月) きのご調査隊(群馬県きのご同好会)(10月)※ 1、2月中止
H18		282	58	40	52	8	18	458	22	13	21	・サポーター制度要項作成 ・カラマツ漸伐試験地設置	炭窯、テンモニ、豊凶調査、環 境調査、いきもの村環境整備 等	猛禽類フィールドワーク研修会(7月)、ホンドテ ンモニタリング研修(8月)、※1月中止
H19	44	264	28	30	51	6	6	385	22	12	18	・「2号治山ダム」の撤去を決定 ・サポーター登録制度開始	炭窯、テンモニ、南ヶ谷湿地調 査、豊凶調査、環境調査、いき もの村環境整備等	地域の伝統文化を学ぶ(伐採搬出)(4月)、※3 月中止
H20	48	293	42	29	49	0	2	415	22	13	19	・環境教育・関東ミーティング 2008AKAYA	炭窯、テンモニ、南ヶ谷湿地調 査、豊凶調査、環境調査、いき もの村環境整備等	赤谷の日講座(山梨森総研:長池)(6月)、赤谷 自然文化車座座談会(8~3月)、※1月中止
H21	49	346	57	57	64	1	47	572	24	14	24	・「2号治山ダム」の撤去工事完了	炭窯、テンモニ、南ヶ谷湿地調 査、豊凶調査、環境調査、いき もの村環境整備等	赤谷自然文化車座座談会 (4~3月)
H22	49	359	59	67	59	2	12	558	23	16	24	・赤谷の森管理経営計画書完成(H 23年度~H27年度)	炭窯、テンモニ、南ヶ谷湿地調 査、豊凶調査、環境調査、いき もの村環境整備等	赤谷自然文化車座座談会(4月)そば打ち(7 月)、ヤマビル調査(4~12月)、※1月中止
H23	48	245	38	66	33	9	12	403	22	11	18	・第2期赤谷プロジェクト協定締結 ・南ヶ谷湿地保全管理計画書2011作 成	炭窯、テンモニ、南ヶ谷湿地調 査、豊凶調査、環境調査、いき もの村環境整備等	南ヶ谷・テンモニ・豊凶調査、※4月中止(地震の 影響のため)
H24	51	162	51	32	44	2	31	322	25	6	13	・赤セにおける赤谷プロジェクト広 報戦略作成 ・たくみの里赤谷プロジェクトPR ブースオープン	炭窯、テンモニ、南ヶ谷湿地調 査、豊凶調査、環境調査、いき もの村環境整備等	人工林管理を学ぶ(9月) 赤谷の日改良意見交換(2月)
H25	65	78	19	20	15	3	3	138	8	10	17	・新赤谷の日開始(毎月土曜日) ・赤谷プロジェクト10周年記念シン ポジウム ・サポーター要項改訂	・間伐影響調査、テンモニ、小 出俣試験地調査、分育地ニホ ンジカ調査等	・赤谷の日祭り(8月)
計		2,231	386	419	382	92	157	3,667	194	12	19			

※ 参加者数は、1日及び半日参加などでも一人としてカウント
 ※ 参加者数は、赤谷の日活動ペーパーに記載のあった名前をカウント
 ※ 活動項目は、赤谷の日活動ペーパーから主だった活動を選定
 ※ 平成24年度からは、赤セの赤谷の日活動報告書に記載された人数をカウント

※ H25年度からは、赤谷の日の活動日は、一日(H24年度までは、二日)
 ※ サポーター登録数は、総合事務局(NACS-J)聞き取り
 ※ 備考欄は、イベント等で、その年度の特徴的な取組を記載

赤谷プロジェクトに関する調査報告書等

年度	報告書タイトル	受託者	備考
平成16年度	緑の回廊モニタリング調査 赤谷プロジェクト自然環境モニタリング基本方針	(財)日本自然保護協会	
平成17年度	赤谷プロジェクト緑の回廊モニタリング調査 三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)自然環境モニタリング「緑の回廊」のモニタリング手法研究	(財)日本自然保護協会	
平成18年度	赤谷プロジェクト緑の回廊モニタリング調査 三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)自然環境モニタリング「緑の回廊」のモニタリング手法研究	(財)日本自然保護協会	
年度	報告書タイトル	受託者	備考
平成16年度	自然再生推進モデル事業報告書 赤谷プロジェクト自然環境モニタリング予備調査	(財)日本自然保護協会	
平成17年度	自然再生推進モデル事業報告書 三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)自然環境モニタリング 体制整備と試行開始	(財)日本自然保護協会	
平成18年度	自然再生推進モデル事業報告書 三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)自然環境モニタリング 活動成果蓄積システムの構築	(財)日本自然保護協会	
平成19年度	自然再生推進モデル事業報告書 三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)	(財)日本自然保護協会	
平成20年度	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)推進事業報告書	(財)日本自然保護協会	
平成21年度	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)推進事業報告書	(財)日本自然保護協会	
平成22年度	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)推進事業報告書	(財)日本自然保護協会	
平成23年度	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)推進事業報告書	(財)日本自然保護協会	
平成24年度	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)推進事業報告書	(財)日本自然保護協会	
平成25年度	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)推進事業報告書	(財)日本自然保護協会	

年度	報告書タイトル	受託者	備考
平成17年度	新治地区茂倉沢治山事業全体計画作成調査 調査報告書(平成18年3月)	(財)林業土木コンサルタンツ	
平成18年度	新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査 調査報告書(平成19年3月)	(財)林業土木コンサルタンツ	
平成18年度	新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査 調査報告書(平成19年3月) 別冊(委員会議事録)	(財)林業土木コンサルタンツ	
平成19年度	新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査 調査報告書(平成19年12月)	(財)林業土木コンサルタンツ	
平成19年度	新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査 調査報告書(平成19年12月) 別冊(委員会議事録)	(財)林業土木コンサルタンツ	
平成20年度	平成20年度 新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査 報告書(平成21年3月)(調査計画編)	国土防災技術(株)	
平成21年度	平成21年度 新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査 報告書(平成22年3月)	応用地質(株)	
平成21年度	平成21年度 新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査 調査報告書(平成22年3月) 別冊(委員会議事録)	応用地質(株)	
平成22年度	平成22年度 新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査(平成23年3月) 報告書	応用地質(株)	
平成23年度	平成23年度 新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査(平成24年3月) 報告書 群馬県利根郡みなかみ町相俣三国峰国有林225林班外	国土防災技術(株)	
平成24年度	平成24年度 新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査(平成25年3月) 報告書 群馬県利根郡みなかみ町相俣三国峰国有林225林班外	国土防災技術(株)	
平成25年度	平成25年度 新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査(平成26年3月) 報告書 群馬県利根郡みなかみ町相俣三国峰国有林225林班外	応用地質(株)	

年度	報告書タイトル	受託者	備考
平成5年度	三国高原猿ヶ京森林空間総合利用整備事業に係る森林施業等への影響調査報告書(平成5年6月)	(株) コクド (社) 日本林業技術協会	
平成19年度	溪流生態系の保全に資する治山事業のモデル的实施について		関東森林管理局 作成
平成22年度	赤谷プロジェクト 赤谷の森・基本構想(2010年3月) ～生物多様性と社会の持続のために、森のあるべき姿をとりもどす～		赤谷プロジェクト 作成
平成23年度	平成23年度 赤谷プロジェクトエリア内の歩道調査事業報告書	梯緑化技研	
平成23年度	南ヶ谷湿地保全管理計画 2011		赤谷プロジェクト 作成

赤谷森林ふれあい推進センター活動報告書(年報)

年度	報告書タイトル	作成者	備考
平成18年度	平成18年度 赤谷森林環境保全ふれあいセンター 活動報告	赤谷センター	製本版・在庫なし
	－赤谷プロジェクトの取り組み		HP掲載無
平成19年度	平成19年度 赤谷森林環境保全ふれあいセンター 活動報告	赤谷センター	製本版・在庫なし
	－赤谷プロジェクトの取り組み		HP掲載無
平成20年度	平成20年度 赤谷森林環境保全ふれあいセンター 活動報告	赤谷センター	製本版・在庫なし
	－赤谷プロジェクトの取り組み		HP掲載無
平成21年度	平成21年度 赤谷森林環境保全ふれあいセンター 活動報告	赤谷センター	製本版・在庫27冊
	－赤谷プロジェクトの取り組み		HP掲載(PDF版)
平成22年度	平成22年度 赤谷森林環境保全ふれあいセンター 活動報告	赤谷センター	
			HP掲載(PDF版)
平成23年度	平成23年度 赤谷森林環境保全ふれあいセンター 活動報告	赤谷センター	
			HP掲載(PDF版)
平成24年度	平成24年度 赤谷森林環境保全ふれあいセンター 活動報告	赤谷センター	
			HP掲載(PDF版)
平成25年度	平成25年度 赤谷森林ふれあい推進センター 活動報告	赤谷センター	
			HP掲載(PDF版)

※ 構成変更(より見やすく、資料編を追加)

関東森林管理局広報誌への掲載記事一覧表

号	年	月	掲載タイトル	内 容
1	16	4	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(通称「赤谷プロジェクト」)がスタート	・赤谷プロジェクトの取組の説明(森林施業等・動植物のモニタリング調査・森林環境教育等)
6	16	9	赤谷プロジェクト近況報告	・2004年度第1回企画運営会議・活動拠点の整備を開始・地域説明会の開催
7	16	10	赤谷プロジェクト近況報告(第2弾)	・植生WG第1回会合を開催・写真コラム「赤谷の森から」の連載スタート!
8	16	11	赤谷プロジェクト近況報告(第3弾)	・「いきもの村」での活動本格化!・「自然観察指導員に学ぶ」
9	16	12	赤谷プロジェクト近況報告	・11月の「いきもの村」・モニタリング検討委員会現地調査を実施・研究者グループ「赤谷の日」を視察
10	17	1	赤谷プロジェクト近況報告	・12月の「赤谷の日」・全国森林環境保全ふれあいセンター担当者、「赤谷の森」に集合
11	17	2	赤谷プロジェクト近況報告	・新春の「赤谷の日」・「いきもの村」での活動成果
12	17	3	猛禽類との共生を目指す取組 ～生物多様性の保全に向けて～	・指針作成に向けた調査と知見の蓄積・希少野生動植物の生息・生育を守るための委員会の設置・研究機関、自然保護団体等との連携
			赤谷プロジェクト近況報告	・プロジェクトの成果(サポーターの獲得・2月の「赤谷の日」・「環境教育ミーティング」への参画
13	17	4	赤谷プロジェクト近況報告	・プロジェクトの成果(合意形成手法の確立・猛禽類などの生態の把握・研究者の関心の獲得)・3月の「赤谷の日」・2004年度第2回企画運営会議を開催・写真コラム「赤谷の森から」連載終了
14	17	5	赤谷プロジェクト近況報告	・平成17年度のプロジェクトエリア内における森林施業予定地で現地検討会を開催・4月の「赤谷の日」
15	17	6	赤谷プロジェクト近況報告	・春を迎えた「赤谷の森」・いきもの村のお披露目会の開催
16	17	7	赤谷プロジェクト近況報告	・小学生が体験した環境教育・中学生が体験した環境教育
17	17	8	赤谷プロジェクト近況報告	・様々な調査活動が本格化!・赤谷の日(テン糞隊)
18	17	9	赤谷プロジェクト近況報告	・2005年度・前期企画運営会議を開催・赤谷の森で「森林生態系スペシャリスト養成研修」を実施
19	17	10	森の価値を伝えて広めている、新しい動き～ 企業のCSR活動との連動～(NACS-J)	・CSRと生物多様性保全・現在の日本企業の認識・赤谷プロジェクトにおけるCSR・生物多様性保全をめざしたCSR活動と国有林
			赤谷プロジェクト近況報告	・猛禽類モニタリングWG 2005年度第1回会合の開催
20	17	11	赤谷プロジェクト近況報告	・茂倉沢治山事業全体計画調査
21	17	12	赤谷プロジェクト近況報告	・プロジェクトの相乗効果・高校生が「いきもの村」に
25	18	4	赤谷プロジェクト2005年度・後期 企画運営会議を開催	・後期 企画運営会議を開催
			赤谷プロジェクト近況報告	・千葉市の中学校教員が「いきもの村」で環境教育の模擬体験
27	18	6	赤谷プロジェクト近況報告	・「赤谷の日」での炭焼きを紹介
28	18	7	赤谷プロジェクト近況報告	・「自然環境モニタリング会議・植生WG合同現地視察」を開催・6月の「赤谷の日」
29	18	8	赤谷プロジェクト近況報告	・高校生への環境教育・植生WGによるプロット調査の実施
30	18	9	赤谷プロジェクト近況報告	・赤谷の森で「森林生態系スペシャリスト養成研修」を実施
31	18	10	赤谷プロジェクト近況報告	・平成18年 第1回企画運営会議を開催・小中学生への環境教育の実施
32	18	11	赤谷プロジェクト近況報告	・植生調査について

号	年	月	掲載タイトル	内 容
33	18	12	赤谷プロジェクト近況報告	・「赤谷の森」の自然散策会を開催・赤谷プロジェクトを多くの方々に見て頂きました
34	19	1	赤谷プロジェクト近況報告	・第2回溪流環境復元WGが開催されました・林野庁業務研究発表で発表してきました
35	19	2	赤谷プロジェクト近況報告	・地域の方々との猛禽類調査
36	19	3	赤谷プロジェクト近況報告	・梶谷国有林野部長の視察がありました・関東森林管理局業務研究発表会で発表してきました
37	19	4	赤谷プロジェクト19年度の取組み	・プロジェクトの枠組み・具体的な活動
38	19	5	赤谷プロジェクト近況報告	・「赤谷の森」にモリゾーキッコロがやってきた・さわやか自然百景・お知らせ(自然散策)
39	19	6	赤谷プロジェクト近況報告	・溪流環境復元WG
40	19	7	赤谷プロジェクト近況報告	・赤谷の森の自然散策を実施・「赤谷の森」で森林ふれあい実務研修を開催
41	19	8	赤谷プロジェクト近況報告	・「第1回 赤谷の森フォーラム」を開催・植生WG、溪流環境復元WGの現地検討会を開催・利根実業高校生に対する環境教育を実施
42	19	9	赤谷プロジェクト近況報告	・ムササビの生活・ムササビはプロジェクトの協力者
43	19	10	赤谷プロジェクト近況報告	・「第1回ムタコの日」が開催されました・千葉森林管理事務所との連携・森林生態系スペシャリスト養成研修の実施
44	19	11	赤谷プロジェクト近況報告	・企画運営会議の開催・日本イヌワシ研究会 合同調査への協力・地元小学生への環境教育
45	19	12	赤谷プロジェクト近況報告	・赤谷プロジェクトを支えるもう一つの力 サポーターの取組について・赤谷の森の自然散策について
46	19	1	赤谷プロジェクト近況報告	・JICA海外研修「持続可能な森林経営の実践活動促進Ⅱ研修」・パナマ国別研修「保護区管理」コース研修・「アマゾン群馬の森」JICA草の根技術協力事業研修
47	20	2	赤谷プロジェクト近況報告	・なぜホンドテン？・ホンドテンのモニタリング調査
48	20	3	赤谷プロジェクト近況報告	・センサーカメラを活用した取組について・赤谷の森の自然散策(冬版)の開催について
49	20	4	赤谷プロジェクト近況報告	・プロジェクト5年目の春が始まります・情報発信活動について(「赤谷の森だより」の発行・パンフレットの作成・マスメディアへの情報提供・HPの更新・「関東の森林から」の定期的な近況報告)
特集号	20	4	〈事例14-1～2〉赤谷プロジェクト	・赤谷プロジェクトの紹介と千葉森林管理事務所との連携した環境教育の取組などを掲載
50	20	5	赤谷プロジェクト近況報告	・モリゾーとキッコロが「赤谷の森林」にやってきた・4月の「赤谷の日」
51	20	6	赤谷プロジェクト近況報告	・(独)森林総合研究所による植生調査・「コリドー現地検討会2008in赤谷」の開催
52	20	7	赤谷プロジェクト近況報告	・放送大学面接授業・千葉市中学生への環境教育の実施
53	20	8	赤谷プロジェクト近況報告	・森林ふれあい実務研修の実施・ほ乳類モニタリングWGの開催・南ヶ谷湿地の調査
54	20	9	赤谷プロジェクト近況報告	・環境教育関東ミーティングについて・「第3回ムタコの日」の開催
55	20	10	赤谷プロジェクト近況報告	・林野庁長官赤谷プロジェクト視察・森林生態系スペシャリスト養成研修
56	20	11	赤谷プロジェクト近況報告	・JICA海外技術研修生の受け入れ・環境教育ワーキンググループ会議の開催・平成20年度 第1回企画運営会議の開催
57	20	12	赤谷プロジェクト近況報告	・「赤谷の森」で自然散策・地元小学生に森林環境教育
58	21	1	赤谷プロジェクト近況報告	・「環境教育・関東ミーティング2008・AKAYA」の開催
59	21	2	赤谷プロジェクト近況報告	・「赤谷の日」の炭焼き・千葉森林管理事務所との連携・自然環境モニタリング会議の開催
60	21	3	赤谷プロジェクト近況報告	・「モリゾー・キッコロ『森へ行こうよ!』」の撮影・「ニッセイ緑の環境講座」で赤谷プロジェクトの取組を講義・猛禽類モニタリングワーキングの開催
61	21	4	赤谷プロジェクト近況報告	・自然環境モニタリング会議、企画運営会議の開催・環境教育への取組(新治小での環境教育の実施・「赤谷の森」自然散策会の開催・新治中の総合学習への協力・高原千葉村自然教室指導者講習会の開催)
62	21	5	赤谷プロジェクト近況報告	・養成研修専攻科(第48期)へ講義・「赤谷の日」の活動

号	年	月	掲載タイトル	内 容
63	21	6	赤谷プロジェクト近況報告	・水生昆虫談話会メンバーの来訪・放送大学の面接授業・新治中学校総合学習への協力
64	21	7	赤谷プロジェクト近況報告	・千葉市中学校への環境教育の実施・「赤谷の森自然散策」の開催
65	21	8	赤谷プロジェクト近況報告	・ムタコ沢の水源かん養機能について・高校生への森林環境教育・植生管理の指針づくり
66	21	9	赤谷プロジェクト近況報告	・レッツ！サマースクールでの森林環境教育・「ムタコの日」で住民参加の森づくり
67	21	10	赤谷プロジェクト近況報告	・茂倉沢治山事業現地取材について・府中市緑の活動推進委員研修会・水生昆虫観察会の開催
68	21	11	赤谷プロジェクト近況報告	・猛禽類調査について・自然環境モニタリング会議の開催・JICA海外研修生の受け入れ
69	21	12	赤谷プロジェクト近況報告	・JICA国別研修・インド環境森林省・茂倉沢治山事業・現地説明会の開催
70	22	1	赤谷プロジェクト近況報告	・南ヶ谷湿地の堆積物調査・企画運営会議の開催・「赤谷の森を語る会」の開催
71	22	2	赤谷プロジェクト近況報告	・1月の「赤谷の日」活動・植生管理ワーキンググループ
72	22	3	赤谷プロジェクト近況報告	・現代都市文化研究会の視察・「赤谷の森自然散策」を開催・環境教育ワーキンググループの取組
73	22	4	赤谷の森から	・地元小学校で環境教育・自然教室指導講習会を開催・第2回企画運営会議の開催
75	22	6	赤谷の森から	・4月の「赤谷の日」の活動・「ムタコの日」実行委員会の開催
77	22	8	赤谷の森から	・赤谷の森自然散策を開催・地域の高校生への森林環境教育・植生管理ワーキンググループ現地検討会
79	22	10	赤谷の森から	・地域の小学生に森林環境教育・「ムタコの日」における森林整備活動
81	22	12	赤谷の森から	・森林生物多様性見学会・秋の自然散策
83	23	2	赤谷の森から	・ヤマビルの被害軽減に向け赤谷の森で落ち葉掃き・環境教育WGプログラム作成に向け現地検討階を実施
85	23	4	赤谷の森から	・赤谷プロジェクトの軌跡 第1回(プロジェクトの発足)[生物多様性の復元と持続的な地域づくり・協働三者のプロジェクトへの期待]
88	23	7	赤谷の森から	・赤谷プロジェクトの軌跡 第2回(プロジェクトの仕組)[主な取組の紹介(自然林回復試験)]
91	23	10	赤谷の森から	・赤谷プロジェクトの軌跡 第3回(主な取組)[溪流環境の復元(治山ダム中央部撤去)・猛禽類のモニタリング・赤谷の日・サポーター・環境教育・視察]
94	24	1	赤谷の森から	・赤谷プロジェクトの軌跡 第4回(赤谷の森管理経営計画書)[計画作成当初より協定3者が参加・生物多様性の保全と木材生産の両立を目指した森林の取り扱いを記載・順応的管理について明記]
97	24	4	赤谷の森から	・赤谷の森のモニタリング活動 第1回(自然林復元試験地)[これまでの試験でわかったこと・新しい伐採試験地]
100	24	7	赤谷の森から	・赤谷の森のモニタリング活動 第2回(イヌワシとクマタカ)[風の精 イヌワシ・森の精 クマタカ]
103	24	10	赤谷の森から	・赤谷の森のモニタリング活動 第3回(ホンドテン)[テンの視点で森を見る・ボランティアで調査・今までに分かったこと]
106	25	1	赤谷の森から	・赤谷の森のモニタリング活動 第4回(溪流環境復元WGの取組)[溪流環境とは・溪流環境の調査・溪流環境の調査を行って]
109	25	4	赤谷の森から	・「南ヶ谷湿地周辺の間伐を終えて」この湿地とその周辺の人工林の扱い(南ヶ谷湿地保全管理計画2011)について紹介
112	25	7	赤谷の森から	・「持続的な地域づくりに向けて」水源保全活動「ムタコの日」や「旧三国街道マップづくり」など様々な取組を紹介
115	25	10	赤谷の森から	・「ロケットリーフ」の様々な活用～大空高くロケットリーフで支援のWA！～ 環境教育教材の「空飛ぶタネの模型」を開発し、その取組みを紹介
118	26	1	赤谷の森から	・「市民参加のモニタリングで見てきた赤谷の森」ホンドテンモニタリングのその成果で見てきた赤谷の森を紹介
120	26	3	赤谷プロジェクト10周年シンポジウム	・平成26年3月9日東京農工大学において、日本各地で「地域づくり」に携わり活躍されている方々をゲストにお迎えし、開催したシンポジウムについて紹介

赤谷の森だよりの掲載内容一覧(第4号～13号)

番号	表紙		コラム		赤谷プロジェクト紹介				赤谷プロジェクトに望むこと		
	テーマ	撮影者	テーマ	執筆者	テーマ	分類	執筆者	所属等	テーマ	執筆者	所属等
4	赤谷の森の最高峰(仙ノ倉山)		晩秋の小出俣林道を歩く	林泉(地域協議会)	赤谷プロジェクト概要	赤P		赤セ	時間がないんだ 森林は...	岸 昌孝	NPO利根川上下流連携支援センター副事務局長
5	様々な歴史を刻む(小出俣エリア)		一本の木の生涯	中村隆史(赤セ)	大型猛禽類の調査を通じて	猛禽類	山崎 亨	赤谷プロジェクト猛禽類モニタリングWG座長	高等学校における環境教育	松井孝夫	群馬県立尾瀬高等学校自然環境課主任
6	ミズナラ、猛禽調査等		森を科学するとは	茅野恒秀(日本自然保護協会)	赤谷の森と植生管理の活動について	植生	亀山 章	赤谷プロジェクト自然再生モニタリング会議座長	アメリカ・カイバブ国有林におけるオオタカの研究と保全	遠藤孝一	日本オオタカネットワーク代表
7	冬の森林		五年目を迎える赤谷プロジェクト	岡村興太郎(地域協議会)	赤谷の森とホンドテン調査について	哺乳類 テン	足立高行	応用生態技術研究所所長	求められている環境教育	春田 隆	群馬県立利根実業高等学校 グリーンライフ科長教諭
8	下層に広葉樹が生育するカラマツ人工林		森林の取扱いの難しさ	藤江達之(関東森林管理局)	赤谷プロジェクト概要	赤P	茅野恒秀	日本自然保護協会			
9	炭窯・カヤ刈り		暮らしが物語る森と人間	茅野恒秀(日本自然保護協会)	AKAYAプロジェクトと環境教育	環境教育	横山隆一	日本自然保護協会 常勤理事			
10	雪景色		環境の時代における全国初の取り組み	河合明宣(地域協議会)	赤谷プロジェクトと地域づくりー旧三国街道の活用を通じてー	地域づくり	茅野恒秀・土屋俊幸	日本自然保護協会・自然環境モニタリング会議委員会			
11	新治小遠足		持続的な地域づくりに取り組んでいます	林 泉(地域協議会)	赤谷の森の溪流環境	溪流環境	相原慎二	赤セ	里山と人との関わりのこれからをみつめて	深津 加津枝	京都大学 准教授
12	仙ノ倉直下から赤谷を望む		三国街道でお宝探し	田中直哉(赤セ)	プロジェクトが発足してからわかったこと(赤谷の森のイヌワシ・クマタカ)	猛禽類	山崎 亨	赤谷プロジェクト猛禽類モニタリングWG座長	次世代を育む活動の必要性	利根川 太郎	みなかみ町立新治小学校長
13	茂倉沢治山ダム・ムタコの日・ムタコ沢水質調査		ともに歩むことの大切さ	茅野恒秀(日本自然保護協会)	赤谷地域の国有林の計画づくりに向けて	森林計画		関東森林管理局計画課	体験型環境教育との出会い	岡田千穂	みなかみ町立新治中学校教諭

赤谷の森だよりの掲載内容一覧(第14号～22号)

番号	表紙		赤谷の森写真館		赤谷の森でわかったこと				赤谷プロジェクトに望むこと					
	テーマ	撮影者	テーマ	撮影者	テーマ		執筆者	所属等	テーマ	執筆者	所属等			
14	クロサンショウウオ	竹村秀雄 星野理恵子	ブナ・モリアオガエル等	茅野恒秀 竹村秀雄 林 武 川端白人	木材、薪、炭、肥料・・・ 生活を支えていた赤谷の森	地域づくり	茅野恒秀	岩手県立大学 総合政策学部 講師	赤谷プロジェクトに望むこと	西田真哉	トヨタ白川 郷自然学校 校長	サポーター活動の紹介		
15	ムタコの日	安田剛士	立ち枯れたブナ・オコジョ等	茅野恒秀 出島誠一 竹村秀雄 前田 修	センサーカメラとテンモ二隊の活躍	哺乳類 テン	足立高行	応用生態技術 研究所 所長	赤谷プロジェクトに望むこと	藤江達之	森林総合研 究所			
16	ニホンカモシカ	青木邦夫	オオカメノキの冬芽・ウサギの足跡等	茅野恒秀 竹村秀雄 星野理恵子 小鮎 守 平井希一	自然の森の姿	植生	亀山 章	自然環境モニ タリング会議 座長	赤谷プロジェクトに望むこと	江戸家猫八	動物ものま ね演芸家	テーマ	執筆者	所属等
17	熊の親子		初夏の三国は、ツツジ街道	竹村秀雄 川端白人	新たな森づくり、スタート！ 「赤谷の森管理経営計画」	森林計 画		関東森林管理 局計画課	赤谷プロジェクトに望むこと	清水英毅	森林塾青水 塾長	活動の紹 介	藤田 卓	サポーター
18	ムタコの日		美しいチョウたち	小林茂男 出島誠一 前田 修 藤田 卓	人工林を自然に戻して みようという試み	植生	塚田夢人	東京農工大学 森林生態学研 究室OB	自然は素晴ら しい資源	施井真希子	みなかみ町 観光協会	ホンデン モニタリ ング調査	青木邦夫	サポーター
19	初冬の三国山		『赤谷の森、樹木たちは今！』	平井希一 赤セ 和田晴美 福田耕二 竹村秀雄 小鮎 守	姉妹プロジェクト「綾の照 葉樹林プロジェクト」につ いて	その他	土屋俊幸	自然環境モニ タリング会議委 員会	赤谷プロジェクトに望むこと	岸 良昌	みなかみ町 長	豊凶調査	豊凶調査 チーム	サポーター
20	ブナの実生	竹村秀雄	『ハイキングコースで 可憐な草花と出会 う！』	越尾 武	「赤谷の森のコウモリ」	哺乳類 コウモ リ	三笠暁子	コウモリの会事 務局	赤谷プロジェクトに望むこと	河合明宣	地域協議会	南ヶ谷湿地	竹村秀雄 和田晴美 前田 修	サポーター
21	樹液を吸うカブトムシ♀	赤セ	カブトムシ採りの思い出	画像：赤セ 文：小池俊弘	スギの人工林を”自然に 戻す”実験を始めました	植生	藤田 卓	日本自然保護 協会	人と自然が共 生できる環境 へ	阿部政英	高原千葉村	成功したヤ マビル対策	坂口・星野	サポーター
22	春を待つフキノトウ	松田大介	三国山・平標山の 花々	林ふさ子	ニホンザルを調べてみた ら	哺乳類 サル	安田 剛士	地域協議会	「畏敬の念と 感謝」	小林友子	新治小学校 六年担任	オオムラサ キの幼虫探 し	前田 修 小林茂男 小鮎 守	サポーター

赤谷の森だよりの掲載内容一覧(第23号～25号)

番号	表紙:赤谷の森ミニ写真館		P2:赤谷の森でわかったこと		P3:トピックス			P4:活動トピックス
	テーマ	撮影者	テーマ	執筆者	テーマ	執筆者	その他	
23	「赤谷川上流」 【H25.7.18 溪流調査時に撮影】	赤谷森林ふれあい推進センター	「打たれ強い水生昆虫」	愛知工業大学教授:内田 臣一	・赤谷プロジェクト地域協議会 新会長就任ご挨拶	【赤谷プロジェクト地域協議会:河合 進】	・赤谷プロジェクトに関するイベント予定	・赤谷プロジェクトの活動トピックス(4月～7月)
24	「赤谷の森のきのこ(タマゴダケ)」	赤谷森林ふれあい推進センター	「赤谷の森でニホンジカが増えたらどうなるのか？」	東京農工大学教授:梶 光一	・赤谷プロジェクトに期待すること	関東森林管理局計画保全部長:寺川 仁	・2013みなかみオンパク(コイラ)にパートナーとして初参加! ・赤谷プロジェクトに関するイベント予定 ・お知らせ!(関係者の異動交代等)	・赤谷プロジェクトの活動トピックス(8月～11月)
25	「赤谷の森に春が来た!(春一番に咲く!マルバマンサク)」	青木邦夫 (赤谷プロジェクトサポーター)	「森の地面で暮らす飛ばない昆虫たち」	宇津井環境調査事務所: 宇津井 守	・赤谷プロジェクトに期待すること	(公財)日本自然保護協会保全研究部部长:朱宮 文晴	・赤谷の森学校開校しました! ・赤谷プロジェクトに関するイベント予定 ・お知らせ!(平成25年度赤谷プロジェクト地域協議会総会)	・赤谷プロジェクトの活動トピックス(H25.11月～H26.3月)

自然環境モニタリング会議及び各WG活動の研究論文・研究発表 等

<自然環境モニタリング会議>

年月	雑誌名/会合名 等	タイトル	執筆者/発表者
2012/3	日本生態学会第59回、 大津-自由集会 (3/17)	官民協働による新しい国有林管理～生物多様性復元と持続的な地域づくりを目指した「赤谷プロジェクト」8年間の成果と今後の課題～趣旨説明：「赤谷プロジェクト」国有林管理のための意思決定・官民協働の枠組み	亀山章
2012/3	日本生態学会第59回、 大津-自由集会 (3/17)	赤谷の森の植生の現状評価と森林管理への反映	長池卓男
2012/3	日本生態学会第59回、 大津-自由集会 (3/17)	イヌワシ・クマタカを指標とした生態系評価と、森林管理への反映	山崎亨
2012/3	日本生態学会第59回、 大津-自由集会 (3/17)	哺乳類を指標とした生態系評価	藤田卓

<植生管理WG>

年月	雑誌名/会合名 等	タイトル	執筆者/発表者
2012	Forest Ecology and Management 283(1):48-55	Interactive influences of distance from seed source and management practices on tree species composition in conifer plantations	Takuo Nagaike, Taku Fujita, Seiichi Dejima, Tsunehide Chino, Seiji Matsuzaki, Yoichiro Takanose, Kazuaki Takahashi
2011	Forest Ecology and Management 262(7):1280-1288	Effects of management, environment and landscape conditions on establishment of hardwood seedlings and saplings in central Japanese coniferous plantations.	Hirata, A., Sakai, T., Takahashi, K., Sato, T., Tanouchi, H., Sugita, H. & Tanaka, H.
2010/3	第121回日本森林学会大会	関東の針葉樹人工造林地における伐採方法が広葉樹天然更新に及ぼす影響	塚田夢人 他
2010/3	東京農工大学修士論文	*自然林復元試験地（カラマツ林）における伐採実験	塚田夢人
2009/3	東京農業大学卒業論文	スギ人工林に天然更新した広葉樹の種組成に保残帯からの距離と土地利用前歴が及ぼす影響	井上歩

2012/6	現代林業 (552) :38-42	お役に立ちます! 最新研究紹介 冷温帯におけるスギ人工林皆伐後の森林更新 : 埋上種子の樹種構成	酒井武、高橋和規、杉田久志
2011/3	東京農業大学卒業論文	スギ人工林に天然更新した広葉樹の成長パターン	小川智也
2012/10	第2回関東森林学会大会口頭発表	スギ人工林に天然更新した広葉樹の成長パターン	小川智也
2013/3	第124回日本森林学会大会ポスター発表	カラマツ人工林内において天然更新した広葉樹の更新時期および成長過程	小川智也
2008/3	東京農工大学卒業論文	人工林の伐採跡地の植生回復に関する研究	田中裕 卒論

<猛禽類WG>

年月	雑誌名/会合名 等	タイトル	執筆者/発表者
2008/9	日本鳥学会・自由集会 (9/13)	イヌワシ・クマタカを象徴とした森林生態系の保全管理 : 赤谷プロジェクトの紹介と最近の繁殖状況、森林整備との関係	辻村千尋 他

<ほ乳類WG>

年月	雑誌名/大会名 等	タイトル	執筆者/発表者
2012/11	群馬県立自然史博物館研究報告 (16) : 131-144	群馬県みなかみ町のコウモリ類	佐々木尚子、三笠暁子、福井 大、吉倉智子、水野昌彦、今井英夫、大沢啓子、大沢夕志、佐藤顕義、野口郊美、本多宣仁、峰下耕、藤田卓、出島誠一
2007/5	日本生態学会九州支部 (地区) 大会	夏緑林におけるテンの食性の地域差—北部九州と関東周辺—	足立高行・荒井秋晴・桑原佳子
1905/6	「水源地生態研究会議 森林生態研究委員会」10周年記念報告	森林環境評価のための指標種としてのテン <i>Martes melampus</i> の役割	荒井秋晴・足立高行・桑原佳子他.

1905/7	SADO環境科学研究所報告	佐渡トキ野生復帰ステーション周辺におけるテン及びホンDOIタチの糞分析による採餌傾向の解析	足立高行・桑原佳子・川上藍・後藤唯
2011/9	日本ほ乳類学会大会	群馬県赤谷地域におけるホンドテンの生息地選択～主要な餌植物の分布との関連性～	星野莉紗、藤田卓、足立高行、金子弥生
2012/3	日本生態学会第59回、大津	The circadian activity pattern of sympatric forest mammals in central Japan	Hoshino, L., Fujita, T., Kaneko, K.
2008/3	東京農工大学卒業論文	野生動物の空間利用における林分構造・景観構造の関係	渡辺晶

< 溪流環境復元WG >

年月	雑誌名/大会名 等	タイトル	執筆者/発表者
2011/3	プロ・ナトゥーラ・ファンズ第16期助成成果報告書	砂防堰堤撤去による溪流植生復元のためのモニタリングおよび回復評価手法の開発	吉川正人、林雄太
2011/3	日本生態学会第58回全国大会、札幌	群馬県赤谷川上流域における治山堰堤の設置とその破損が溪畔植生に与える影響	林雄太、吉川正人、藤田卓
2010/3	日本生態学会第57回全国大会、東京	治山ダムによって土砂送流が抑制された溪流の植生分布 ～AKAYAプロジェクト治山ダム撤去対象地・茂倉沢の事例～	林雄太、吉川正人、藤田卓
1905/7	土木学会誌、第94巻7号、22-24頁	協働による溪流環境の復元の試み-赤谷プロジェクトにおける新たな治山事業	茅野恒秀
2012/1	砂防学会誌、第64巻 第5号(通巻298号)	溪流環境の復元を目的に加えた治山事業の計画と施工：茂倉沢における試み	高橋剛一郎、井口英道
2009/1	日経コンストラクション(1月22日号)	人間ドキュメント タブーに向き合い治山ダムを撤去--防災機能と溪流環境の両立を目指す推進役に	松浦隆幸
2009/8	現代林業2009年8月号	森と水--森林管理の現場から(第20回)国有林の共同管理と治山ダム部分撤去--利根川源流・赤谷プロジェクトの挑戦	蔵治光一郎
2011/9	川と湖を見る・知る・探る陸水学入門(日本陸水学会 編)	官民一体となった流域管理～赤谷プロジェクトの挑戦とその波及～	藤田卓、朱宮丈晴

<その他>

年月	雑誌/大会/著書等	タイトル	執筆者/発表者
2008/3	東京農工大学 農学部 卒業論文	働型国有林管理プロジェクトにおける地域づくりの課題と展望～赤谷プロジェクト旧三国街道フットパス網計画を事例として～	南部さやか
2011/3	東京農工大学 農学部 修士論文	官民協働型森林管理における地域環境ガバナンスの実態と課題～赤谷プロジェクトを事例として～	林あかね
2009	環境社会学研究 第15号、25-38頁	プロジェクト・マネジメントと環境社会学：環境社会学は組織者になれるか、再論	茅野恒秀
2009	よくわかる環境社会学	「赤谷プロジェクト」	茅野恒秀
2011	環境社会学	第6章「自然保護問題」	茅野恒秀
2012	法政大学 社会科学研究所 博士論文	環境問題解決過程における政策課題設定のメカニズムに関する研究～自然保護問題の解決過程と制度変革の検討を通じて～	茅野恒秀
2005	森づくりフォーラム第106号、10-11頁	行政と自然保護NGOとの国有林野『共同管理』 赤谷プロジェクト	茅野恒秀

赤谷プロジェクト・サポーター要項

2013年11月15日

環境教育WG

赤谷プロジェクト（正式名称：三国山地／赤谷川・生物多様性復元計画）は、群馬県みなかみ町北部に広がる1万ヘクタール（10km 四方）の国有林“赤谷の森”を、地元住民で組織する「赤谷プロジェクト地域協議会」、林野庁関東森林管理局、(財)日本自然保護協会の3つのセクターが中核となって共同管理していくプロジェクトです。

赤谷プロジェクトは、「生物多様性の復元」「持続的な地域づくり」という二大目標の実現と、地域社会・政府機関・公益法人（NGO）の3つのセクターが主体的に協働し地域環境管理を行うモデルとなることを目指しています。

赤谷プロジェクトでは、この理念に共感・共鳴し、プロジェクトの目標実現に協力して頂ける方を募っています。21世紀の“公益”を形づくる赤谷プロジェクトにご参加下さい。

1. 赤谷プロジェクト・サポーターについて

(1) 赤谷プロジェクト・サポーターとは

赤谷プロジェクト・サポーターとは、

- ①赤谷プロジェクトの理念に共感し、プロジェクト推進に協力して下さる方、
- ②ボランティアな立場でプロジェクトの活動に加わって下さる方、
- ③サポーターとして、“公益”を担う意識を持って活動することを自覚して下さる方

の3つの条件に同意し、『赤谷プロジェクト・サポーター』（以下「サポーター」として登録して頂いた方です。なお、サポーター登録は成人の方に限らせて頂きます。

赤谷プロジェクトでは以下のような方々にサポーター登録をしていただきたいと考えています。

- ・日頃のデスクワークの疲れを赤谷の森の中での活動でリフレッシュしたい人
- ・様々な自然体験をしたい人、森のことを学びたい人、森の管理に貢献したい人
- ・赤谷の森の植物のこと、樹木のこと、動物のことなどすべてを知り尽くしたい人
- ・赤谷の森に行ける機会は少ないけれど、都合のついたときに仲間と一緒にの活動や赤谷の森の自然を楽しみたい人
- ・赤谷の森には行けないけれど、データ整理などを手伝いながら赤谷の森を知りたい人

など

(2) サポーターになると

①情報提供が受けられます

サポーターに登録していただいた方には、「赤谷プロジェクト・メールマガジン(仮称)」等を通じて“赤谷の森”の様子や、赤谷プロジェクト（以下「プロジェクト」とします。）の進捗状況について情報提供致します。

②プロジェクト活動に参加できます

毎月1回赤谷の森で行う「赤谷の日」（2. 赤谷の日について 参照）、各ワーキンググループ（以下、WG）のモニタリング活動などの現地での活動や自然環境データの整理、HPの編集など、プロジェクト活動に協力いただける機会などをご案内します。

③プロジェクト活動に友人等を誘って頂くことができます

現地で行われる「赤谷の日」や各WGのモニタリング活動等に家族や友人・知人を誘うことができます。なお、未成年の方はサポーター等の引率が必要です。

④赤谷の森で調査活動等を主催できます

赤谷の森をフィールドとした活動を企画・実行することができます。一定の条件を満たした活動であれば「チーム企画活動」（3. チーム企画活動について 参照）として、いきもの村の建物や調査道具の利用などができます。

(3) サポーター登録について

メール・FAX等で別紙1の「赤谷プロジェクト・サポーター登録申込書」を総合事務局宛に送信して下さい。また、電話での登録も可能ですので、その場合は以下の項目について総合事務局にご連絡下さい。

①氏名、住所、電話番号、メールアドレス

②サポーター登録の条件（上記（1）参照）に同意している意思表示

なお、登録の解除は随時可能ですので、その場合は総合事務局にご連絡下さい。

(4) サポーター活動中の安全確保について

サポーター活動には、赤谷プロジェクトが主催するもの、日本自然保護協会等プロジェクト3セクターのいずれかが主催するもの、チーム企画活動、個人の自主的な活動があります。

サポーター活動中の安全は、いずれの場合も自己責任のもとに確保して頂きます。自身の体力等を踏まえ、活動計画を立てるとともに、林道や森林内を歩く際の危険回避、活動中の体調管理等を十分に行って下さい。

(5) サポーター活動中の保険について

赤谷プロジェクト及び、日本自然保護協会等プロジェクト3セクターのいずれかが主催する活動については、主催者が保険加入手続きを行います。

それ以外の活動（チーム企画活動、個人の自主的な活動）を行う場合は、個人で野外活動保険等に加入した上で活動されることを、強くお勧めします。

なお、赤谷プロジェクト等が主催する活動について、保険加入手続きの都合から主催者が指定する〆切日までに参加表明が必要です。連絡がない場合は保険に加入ができませんのでご了承ください。

2. 赤谷の日について

(1) 赤谷の日とは

「赤谷の日」とは、原則毎月第1土曜日から翌日曜日の朝まで行っている赤谷プロジェクトの活動支援日です。多くの方たちに赤谷プロジェクトを知っていただくための入り口でもあります。サポーターと共に、そのご家族、ご友人もお誘い頂けます。

赤谷プロジェクトの活動拠点であるいきもの村に集まり、各WGが実施しているモニタリング活動や、いきもの村の環境整備等を実施しています。

(2) 「赤谷の日」の主催者等

「赤谷の日」は赤谷プロジェクトが主催します。当日の運営は、赤谷プロジェクト地域協議会、日本自然保護協会、赤谷森林ふれあい推進センターの3者が持ち回りで行います。各回の活動メニューについては前月の赤谷の日までに運営担当者からご案内します。

(3) いきもの村の利用

いきもの村には、調査用具の保管やミーティングに使う「村の家」と、作業・活動の休憩場所である「たくみ小屋」があります。「赤谷の日」には、どちらも使う事ができます。「赤谷の日」終了後は、いきもの村内は、自由に散策できますが、建物内には入れなくなります（「チーム企画活動」での利用を除く）。

(4) 「赤谷の日」終了後について

「赤谷の日」は日曜日の朝7時に終了します。その後は自由行動となりますので「チーム企画活動」へのご参加や、個人やご家族の自主的な活動などにご利用下さい。また、日本自然保護協会等プロジェクト3セクターがプログラムを用意することがあります。

3. チーム企画活動について

(1) チーム企画活動とは

サポーター等が自主的に「赤谷の森」で行う活動で、

- ①プロジェクトの目標である「生物多様性の復元」、「持続的な地域づくり」に資する活動であること
- ②活動の成果について、プロジェクトと情報共有できるものであること
- ③2人以上のサポーターが参加する活動であること
- ④活動内容がチーム内で完結できるものであること

を条件とし、「別紙3 チーム企画活動一覧」に登録された活動をいいます。なお、活動内容がプロジェクトの理念や方針に合致しているか、各種法規制に抵触している部分がないか、国有林の管理・経営上支障がないかについては総合事務局で確認させて頂きます。チーム企画活動の実施にあたっては、いきもの村の建物（村の家、たくみ小屋、倉庫等）や道具類を利用することができます。

(2) チーム企画活動を実施するには

チーム企画活動を実施したいと思われた場合には、別紙2「チーム企画活動計画書」を総合事務局にご提出下さい。^注

総合事務局で上記(1)の条件を満たしているか等を確認させて頂きます。なお、森林整備事業等との関係から内容の修正をお願いする場合があります。

計画書の内容が(1)の条件を満たしていること等が確認され次第、別紙3「チーム企画活動一覧」に登録し、その後、提案者に計画が登録された旨を連絡するとともに、サポーター等関係者にお知らせします。

注：活動計画書がうまく書けない場合は総合事務局にお気軽にご相談下さい。

(3) 「チーム企画活動」を実施する場合には

総合事務局にご連絡いただければ、総合事務局からメールマガジンにお知らせします。直接、サポーターMLでお知らせいただいても結構です。活動報告や、仲間集めにご利用ください。

赤谷の日の後に「チーム企画活動」を実施する場合、「赤谷の日」の3週間までに総合事務局にご連絡頂ければ、赤谷の日の案内と一緒にご案内致します。

(4) 「チーム企画活動」実施中の建物等の管理について

いきもの村の利用は、「いきもの村利用ルール（別紙）」に沿って行って下さい。火の元や安全の確認、廃棄物の処理は確実にお願い致します。いきもの村を離れられる際は、建物全ての施錠を確認して下さい。又、道具の破損等があった場合は、総合事務局に速やかにご連絡下さい。

(5) 活動報告について

チーム企画活動の節目ごとに活動報告を行って下さい。

活動報告の方法については、赤谷の日での報告、報告書、赤谷プロジェクト・メールマガジンやMLへの投稿など方法は問いません。

4. 情報の提供と共有について

(1) 赤谷プロジェクト・メールマガジン(仮称)

メール環境のあるサポーター全員に配信します。

総合事務局から、「赤谷の日」等の開催情報のほか、“赤谷の森”の様子や、赤谷プロジェクトの活動予定についてお知らせします。

なお、メール環境が無い場合は、メールマガジンと同様の頻度で情報のご提供はできませんが、一部をFAXや郵送(郵送料はご負担頂きます)で行うことも検討致しますのでご相談下さい。

(2) メーリングリストでの意見交換(登録は任意です。)

主にサポーターとプロジェクト関係者の意見交換を目的として、サポーター・メーリングリストを設置しています。ここでは、赤谷の森に関する意見交換、チーム企画活動の相談、参加者の募集、活動状況等の報告等が行えます。

なお、メーリングリストにおける他人への誹謗・中傷、政治的活動は禁止します。参加者全員が気持ちよく使えるよう協力をお願いします。

途中からの登録や解除も出来ますので、その場合は総合事務局までご連絡下さい。

4. 問い合わせ先

赤谷プロジェクト事務局

公益財団法人日本自然保護協会【総合事務局】

〒104-0033 東京都中央区新川1-16-10 ミトヨビル2F

TEL: 03-3553-4107 FAX: 03-3553-0139 Email: akaya@nacsj.or.jp

赤谷プロジェクト地域協議会

〒379-1404 群馬県利根郡みななかみ町相俣 2577

TEL: 0278-66-0888 Kawafuru0888@gmail.com

林野庁関東森林管理局 赤谷森林ふれあい推進センター

〒378-0018 群馬県沼田市鍛冶町 3923-1

TEL: 0278-60-1272 FAX: 0278-24-5562 Email: akaya_postmaster@rinya.maff.go.jp

<http://www.kanto.kokuyurin.go.jp/akaya/akayaproject/>

赤谷プロジェクト・サポーター登録申込書

別紙 1

平成 年 月 日

私は、

- ・赤谷プロジェクトの理念に共感し、プロジェクト推進に協力すること
- ・ボランティアな立場でプロジェクトの活動に加わることに同意し、赤谷プロジェクト・サポーターに申込みます。
- ・サポーターとして、“公益”を担う意識を持って活動することを自覚すること

○氏名:

○住所:

○電話番号:

○メールアドレス:

(メール環境がない場合は希望する連絡方法を記入して下さい。)

*毎月総合事務局から、赤谷の日の開催等についてメールマガジンでお知らせします。

*個人情報は皆様への連絡、情報提供と保険登録に使用します。

*個人情報は総合事務局 NACS-J が管理し、第三者へ提供することはありません。

○サポーター・メーリングリストへの登録

*途中からの登録や解除も出来ます。詳細は総合事務局までご連絡下さい。

希望する ・ 希望しない

○その他(赤谷プロジェクトに対する質問や意見などご自由にお書き下さい。)

別紙2
平成 年 月 日

〇〇チーム企画活動計画書

提案者

〇チーム企画活動の名称

〇共同企画者
*リーダーに◎、サブリーダーに○をつけて下さい。なお、リーダー、サブリーダーは必ず決めて下さい。

〇活動の目的と内容
*活動内容については、場所、活動時期等も含め出来るだけ具体的に記載して下さい。

〇活動期間
*赤谷の森管理経営計画の計画期間〔2016年（平成28年）3月〕を超えない範囲として下さい。

〇期待する成果

7/9

<別紙2記載例>

平成25年5月5日

木の実豊凶チーム企画活動計画書

申請者 赤谷一郎

〇チーム企画活動の名称
木の実豊凶調査チーム

〇共同企画者
*リーダーに◎、サブリーダーに○をつけて下さい。なお、リーダー、サブリーダーは必ず決めて下さい。

◎赤谷一郎、○豊凶二郎、南ヶ谷三郎、・・・・

〇活動の目的と内容
*活動内容については、場所、活動時期等も含め出来るだけ具体的に記載して下さい。
木の実の豊凶は、感覚的な自然現象を数値化し、自然の仕組みを科学的に見ること・解説することのツールとして、環境教育や自然観察会の場で活用することを目的とします。
毎年5月に調査木の下に直径80cm程度の種子トラップを設置し、6月～11月の間は毎月トラップの中に落ちた木の実を調べ、その年の豊凶を判断します。11月に撤去します。調査木の位置は別紙の通りです。
また、毎月の調査では、周辺の木々と比較しながら、枝ぶり、花や葉のつき具合など木の健康状態も観察します。

〇活動期間
*赤谷の森管理経営計画の計画期間を超えない範囲として下さい。
平成25年5月～平成27年11月

〇期待する成果
豊凶調査の結果を使って、赤谷の森の来訪者に対し、森のしくみに関する理解を深めます。

8/9

チーム企画活動一覧

別紙3

No.	名称	注	勤続期間	毎年の活動回数	リーダー	サブリーダー	参加人数	備考
<例>								
1	本の実習区調査チーム		H25.4～H27.11	5月～11月	赤谷一郎	豊区次郎	6人	
2								
3								
4								
5								
6								

9/9

赤谷プロジェクトサポーター募集！

たくさんさんの笑顔がまっきます！

「赤谷プロジェクトサポーター」で検索ください！

赤谷プロジェクト総合事務局 (公財) 日本自然保護協会 出島・藤田

<お問い合わせ>

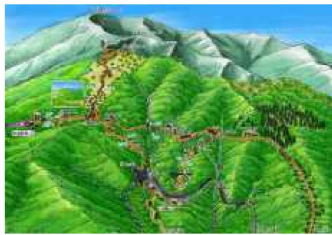
「新三国通信」

※センカメ仙人からの情報発信

旧三国街道から発信している情報紙

新三国通信

(癒やしの秋版)



お問合せ先
赤谷森林ふれあい推進センター 情報局
センカメ仙人に聞いてね！
TEL 0278 (60) 1272
Fax もあります。

見てきたような民話シリーズ

【村の山の名前】

★むかし、爺さんに聞いた話だけど、三国街道の旅人が石に腰掛けて、そこらの景色を眺めながら休んでいた。

そうしたら、そこに村の衆が通りかかったので旅人が、「村の人かね。むこうに見える山はなんていう山だい」って聞いたと。

そうしたら、「あれかい。あれはむこう山だ」って言った。「そうかい、それじゃあ、その上の山はなんていうんだい」「上の山だ」「せいじゃあ、あの山はなんていうんだい」って言ったら「あの山だ」って言うんで、後ろむいて、「じゃあ後ろの山わい」って聞いたら、「決まっているじゃねえか。後ろ山だ」って言ったんだと。

★そうしたら旅人が怒って、「馬鹿にするな」って行っちゃったとさ。
今でも本当にそう呼んでいるんだから仕方あんめい。

協働協定している団体

- 赤谷プロジェクト地域協議会
- 公益法人 日本自然保護協会
- 協力をしてきている団体
- みなかみ町役場
- その他ぞろぞろ

通信メモ

※あなたが三国街道を歩いて見つけた情報をお知らせください。抽選で豪華記念品を進呈しません。

赤谷プロジェクト情報

●10月イベント紹介

- 5日みなかみオンパク (旧三国街道散策)
- 27日赤谷の森自然散策

旧三国街道から発信している情報紙

新三国通信

(移りゆく秋版)



ムシカリ (別名 オオカメノキ)

赤い実は熟すると黒くなるんじゃ。秋は日一日と変化するのを見るのが楽しみじゃよ。

お問合せ先
赤谷森林ふれあい推進センター 情報局
センカメ仙人に聞いてね！
TEL 0278 (60) 1272
Fax もあります。

見てきたような民話シリーズ

【三国峠の化け物】

★里の奥に、あらたかな神様が現れました。三国峠の途中にある権現様です。里からかなり遠い場所でしたが、人々は峠越えの際に夕立がきたり、夜が更けたりするとこの権現様のそばで休ませていただくのでした。

ある時、1人の男が峠を越えようとしていると、突然雨が降ってきたので、権現様に逃げ込みました。男は、権現様の近くで化け物が出るという噂を耳にしたことがありましたので、その真意を確かめてやろうと思いました。

しばらくするとどこからともなく何ともいえない生臭い風が湧き起こり、女の人が櫛で髪の毛をとくような音も辺りに響き始めました。と、不気味な声が言うのです。『あのおじさんとこに行きなさい』すると子供の声がありました。『あのおじさん、刀持ってるよ。おっかなくて近づけないよ』さっきの恐ろしい声がありました。『おっかながらなくてもいいんだよ。おまえが刺されることなんてない願えば、おじさんの剣の刃は先の方からポロポロと崩れ落ちてゆくだろう』

これを聞いて、さすがの男も震え上がってしまいました。そこへ、子供が飛びかかってきました。男は武士でしたからどうにかうまくよけていましたが、子供はそれでも向かってくるのでいよいよ剣を抜きました。するとどうでしょう。刃先がポロポロと崩れているのです。すっかりその役目を果たさなくなった剣を、男がそれでも必死に振りまわしている、向こうの間から何かが飛びかか

ってくるのが分かりました。男はその大きな鏡のような部分に、全身の力を込めて剣を突き刺しました。その時、真っ暗だった夜空に月が浮かび、一帯は瞬時に明るさを取り戻しました。男には、化け物がその場から逃げ去ったのが分かりました。

翌朝のこと。男が調べてみると、地獄谷と呼ばれる谷で化け猫が3匹、死んでいました。それからというもの、権現様の近くで化け物を見たという噂もずいぶん少なくなったのでした。

赤谷プロジェクト情報

●10月イベント紹介

- 5日みなかみオンパク (旧三国街道散策)
- 27日赤谷の森自然散策

協働協定している団体

- 赤谷プロジェクト地域協議会
- 公益法人 日本自然保護協会
- 協力をしてきている団体
- みなかみ町役場
- その他

※あなたが三国街道を歩いて見つけた情報をお知らせください。抽選で豪華記念品を進呈しません。

旧三国街道から発信している情報紙

新三国通信

(晩秋叙情版)



晩秋の三国路

旧三国街道の周辺の山々は色づいた葉を落とし始めて、
叙情を醸し出している。

お問合せ先

赤谷森林ふれあい推進センター 情報局
センカメ仙人に聞いてね!

TEL 0278 (60) 1272

Fax もあります。

トンホ! のようなつばきシリーズ

【センカメ仙人のプロフィール巻一】

★ワシが生まれたのはいつか分からないが、ワシの母親がこの街道を歩いていると、山賊に出くわして供の者といっしょに殺されたそうじゃ。その時、母親のお腹の中にワシがおったそうじゃが、山賊が獲物を持ってなくなったときに、お腹の中で泣いていたワシを1里離れた寺の住職が、たまたま通りかかって助けてくれたそうじゃ。その後、寺で育てられたが、ワシと同じ境遇の女の子がおったんじゃ。この街道に大般若塚というのがあるが、その退治された妖怪がその子なんじやよ。かわいそうな子でな。たまたま親の仇がここを通ったので妖怪に化けて敵討ちしたんじゃが、運悪く仇と一緒にいた商人が善良な、しかも近くの集落の村民に慕われていたんじゃ。ワシはその時、小出侯にある燕の滝で修行していたんで知らなかったが、修行から寺に帰ってきて和尚さんに聞いて驚いたんじゃ。さて、坂之上田村麻呂という人がこの寺に寄ったとき、和尚さんから一緒に行って武者修行してこいと言われて一緒に旅をすることになったのじゃが、後で坂之上田村麻呂に聞いた話では、ワシは飯を食い過ぎて生活が苦しいので寺を追い出したようじゃった。何しろ一食一升日に4度の飯を食っていたからな。それにしても田村麻呂というおっさんは、偉い人じゃったんじゃ。ワシは気にしないで気軽に話しかけていたがな。今回はこのくらいとしよう、次回はおっさんと

東北を廻って暴れ回った話をしよう。
※この話はフィクションです。実在の人物や団体などとは関係ありません。



トドネオオワタムシ (雪虫、ユキムコ)

赤谷プロジェクト情報

●11月イベント紹介
何かありそうじゃ

協働協定している団体

- 赤谷プロジェクト地域協議会
- 公益法人 日本自然保護協会
協力をしてくれている団体
- みなかみ町役場
- その他

※あなたが二国街道を歩いて見つけた情報をお知らせください。なお、抽選で豪華記念品を進呈するわけないじゃる。

下のページは、新三国通信の裏面です。



赤谷プロジェクト歴史年表

- S24年 上信越高原国立公園に指定。
- S34年 川古温泉より約4km下流に相俣ダム(赤谷湖)完成
- S54年 月夜野営林署が廃止され、沼田営林署に統合される
- S58年 新治村議会「三国山系開発促進計画」を採択
- S63年 三国山系が林野庁前橋営林局によって「ヒューマン・グリーン・プラン」の候補地に選定！国土計画(株)により「猿ヶ京スキー場(仮称)」が計画される
- H02年 「新治村の自然を守る会」結成！新治村と村議会に猿ヶ京スキー場(仮称)の白紙撤回を求める要望書を提出。
- H03年 日本自然保護協会・「守る会」、猿ヶ京スキー場計画地一帯を視察
- H05年 日本自然保護協会、林野庁前橋営林局に意見書を提出
- H11年 日本自然保護協会・「守る会」は、報告書『イヌワシ・クマタカの子育てが続く自然を守るー群馬県新治村・三国山系大型猛禽類生息状況報告』を発行
- H12年 コクド、「猿ヶ京スキー場」計画中止を表明
- H12年 建設省関東地方建設局、「事業評価監視委員会」において川古ダム計画中止を決定
- H13年 林野庁関東森林管理局、「緑の回廊 三国線」を設定
- H15年 「(仮称)赤谷プロジェクト」第1回準備会議
- H15年 「赤谷プロジェクト地域協議会」発足。第1回地域説明会開催
- H16年 林野庁関東森林管理局長・日本自然保護協会理事長との2者による、「三国山地／赤谷川・生物多様性復元計画推進のための協定」を締結(H16年3月)**
- H16年 林野庁 関東森林管理局 赤谷森林環境保全ふれあいセンター開設
- H16年 「赤谷プロジェクト自然環境モニタリング会議」を設置
- H16年 小出俣エリアに自然林復元試験地(スギ間伐)第1号を設置
- H17年 月夜野町・水上町・新治村が合併して「みなかみ町」が誕生
- H17年 赤谷プロジェクト「いきもの村」お披露目
- H17年 「新治地区茂倉沢治山事業全体計画策定調査委員会」を設置
- H17年 AKAYAプロジェクトー「いきもの村」の施設利用ルール作成(2005.2月赤谷の日で合意)
- H18年 赤谷プロジェクト・サポーター制度 要項(2006.5.25)
- H18年 カラマツ漸伐自然再生試験地の設定
- H19年 調査委員会が茂倉沢で通称「2号治山ダム」の一部撤去を決定
- H19年 皆伐自然再生試験地の設定
- H20年 「環境教育・関東ミーティング2008 AKAYA」を開催
- H21年 通称「2号治山ダム」の一部撤去工事完了
- H22年 赤谷の森基本構想を地域住民、NGO、国の三者が協働で策定
- H23年 「赤谷の森管理経営計画」を策定(H23年3月)
- H23年 林野庁関東森林管理局長・日本自然保護協会理事長・赤谷プロジェクト地域協議会長との3者による、第2期「三国山地／赤谷川・生物多様性復元計画推進のための協定」を締結(H23年4月)**
- H23年 スギ漸伐自然再生試験地の設定
- H23年 「南ヶ谷湿地保全計画2011」を策定
- H23年 AKAYAプロジェクトー「いきもの村」の施設利用ルール改訂(2011.3.30)
- H24年 赤谷プロジェクトフィールド利用ルール作成(2012.3.23)
- H24年 赤谷センターにおける赤谷プロジェクト広報戦略の作成(2012.8.1)
- H24年 道の駅「たくみの里」に「赤谷プロジェクトPRブース」設置(常設)(2012.11.3)
- H25年 JR上毛高原駅に赤谷プロジェクトPRブースオープン(期間限定2013.5.1～31)
- H25年 赤谷プロジェクトの歩み～第1期～完成(2013.7月)
- H25年 赤谷の日祭り開催(赤谷プロジェクト発足10年記念イベント)(2013.8.3)
- H25年 「akayaカフェ」開始～“森”をテーマに、自然科学の専門家と、お茶を片手に楽しく語り合う～
- H25年 赤谷プロジェクト・サポーター要項の改定(2013.11.15)
- H26年 AKAYAプロジェクトー「いきもの村」の施設利用ルールの改定(2014.1.15)
- H26年 「いきもの村の将来像」に向けての基本方針と5年間の活動計画・骨子作成(2014.3.19企運承認)
- H26年 赤谷プロジェクト10周年シンポジウム開催
～自然をいかした地域づくりの展望/赤谷プロジェクト次の10年～(2014.3.9)

平成25年度 赤谷森林ふれあい推進センター活動報告

発行：農林水産省 林野庁

関東森林管理局 赤谷森林ふれあい推進センター

〒378-0018 群馬県沼田市鍛冶町3923-1（利根沼田森林管理署内）

電話：0278-60-1272 FAX：0278-24-5562

E-mail: akaya_postmaster@rinya.maff.go.jp

URL: http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/kanto/akaya_fc/index.html

※ 「平成25年度 赤谷森林ふれあい推進センター活動報告」の電子データ(PDF版)は、当センターホームページよりダウンロードできます。